令和５年度

第３２回ぐんまときめきフェスティバル

ときめき俳句大会

入　賞　作　品　集

日時：令和６年３月１５日（金）　午後１時 ～ 午後３時３０分
場所：群馬県社会福祉総合センター　８階ホール

主　催／群馬県・群馬県長寿社会づくり財団
協　力／群馬県俳句作家協会

令和５年度ときめき俳句大会入賞作品一覧

【大賞】

二六六　頼らるる事を励みに大根干す　清水里子

《講評》　木暮　陶句郎　先生

荒縄で結わえて大根を干す作業は体力と熟練を要する。「あなたでなくては」と頼られることを励みに今年も大根を干す作者である。

八一六　母の日や握り返せぬ手を握る　吉原道子

《講評》　猿渡　道子　先生

母の手を摩り確と握るが今の母には握り返す力はない。自分の為に何でもして呉れたあの頼もしい手を思うと胸に迫るものがある。親子の永遠の絆、恩愛の一句である。

【特賞】

一五七　墓洗ふ記憶のなかの父母といて　龍子

《講評》　今井　妙　先生

私の父は戦死でした。戦地に行く前の一枚の写真。実家の長押に埃を被ってあります。この句作者をうらやましく思い又故郷を思い出させてくれ、すばらしい句です。

二〇九　おしやれして花野へとこぐ車椅子　糸井爽子

《講評》　原田　要三　先生

花野へ行く作者の思いが、「おしやれして」と「こぐ車椅子」と詠まれている。身だしなみに気を使うことと「こぐ」という花野へ向う自らの意志の表現に魅かれた。

四〇九　身に入むや車椅子押す娘の白髪　髙橋須美子

《講評》　原田　要三　先生

車椅子を頼る生活。身のまわりの世話をしてくれている娘さんに、白髪のあることに気づいた。苦労を掛けていることへの気遣い、共に、老いてきたことへの感慨。

【特賞】

五四六　生き抜きし昭和はるかに稲架を組む　星野平一

《講評》　小林　敏朗　先生

懸命に米づくりに生きた昭和の世を振り返りつつ今は少し楽になった生活の中での稲掛け、立派な米の収穫に携わっている様子がしっかりと窺える。

六五三　生くるとは明日に会ふこと蕗の薹　佐藤強

《講評》　木暮　陶句郎　先生

上五中七に哲学的な説得力がある。早春の固い土を割って出てくる「蕗の薹」に託された前向きな志である。

【秀作】

七　土塊のほぐるるごとく物芽出づ　至孝

一六四　眉引きて我が身励ます初鏡　池畠敏子

一七〇　争いの無き世を望み春を待つ　番場正夫

一七八　この先は何処を歩くも恵方道　稲葉浅光

三六九　漆塗る刷毛は人の毛寒に入る　長岡和恵

三七五　八方に山ある暮らし吊し柿　山﨑千鶴子

四〇八　雑木山芽吹きて影のあふれだす　岡田秀子

五〇二　赤城山大きく晴れて鳥帰る　田島裕子

五三六　つつがなき米寿の夫と秋刀魚食む　小貫榮子

五七七　父の手を祖父の手を知る火鉢かな　中島弘子

六三三　指先を風があやつる風の盆　猪野せつ子

六四五　年惜しむ九十年のたつきただ愛し　中西好江

七三八　十年は生きたし五年日記買ふ　細井寿男

【佳作】

一五　雲の峰再出発の八十路かな　椎名ヒロ子
二七　悠々と一人句作の炬燵かな　遠藤たかえ
三一　八月や学び直しの世界地図　岡田ふじ子
五一　グランドに仲間の笑顔秋澄みぬ　鈴木清江
六一　いちにちのいのちいきいき日日草　相澤礼子
六七　ビオトープ児等叫びつつメダカ追う　西眺
一三四　夜更けまで踊り追いかけ風の盆　岡田文子
一四五　秋耕や父の言葉を励みとす　笠原正士
一六三　何ひとつ欲しい物なし日向ぼこ　池畠敏子
二〇七　秋彼岸いつしか母の歳をこえ　森田絹代
二四九　枯葉追う児を追う風に追い越され　由木実枝
二五五　ラムネ瓶吹いて昭和へ帰りけり　飯島慶子
四一九　寒風や竹刀打ち分け静と動　春山泉
四三四　言の葉を拾ひ集めて冬ごもり　田村フミ江
四五七　素っ気なき夫の返事や風花す　佐藤栄子
五一四　声張りて誤嚥の予防百舌哮る　柘野良枝
五二六　花吹雪一瞬わが子を見失ふ　横堀美喜
六六五　惜春や片方残るイヤリング　清水檀
七四一　良き町に住み半世紀花馬酔木　堀越明子
七四四　両手に杖持ちて一礼初詣　中井良雄
七七三　葱畑畝に日差しのあふれゐし　村上節子
八〇〇　雄大な赤城嶺眺む村小春　柴崎登起子
八〇五　透明てふ色一つ足し冬の水　堺美典

【群馬県長寿社会づくり財団理事長賞賞】（最高齢者男女各1名）

〈男性〉

五四五　長寿の世みな艶やかに龍の玉　星野平一　97歳

五四六　生き抜きし昭和はるかに稲架を組む

〈女性〉

一八五　望の夜や終活を経て白寿くる　磯つね　99歳

一八六　「大丈夫」毎夜娘が問う冬の風呂

【ときめき賞】（理事長賞を除く年齢上位者男女各5名）

〈男性〉

六二九　遠榛名暮色に染まる木守柿　南風子　96歳

六三〇　谷川岳三段染めの紅葉かな

六七　ビオトープ児等叫びつつメダカ追う　西眺　95歳

六八　柿熟れる残照峡の村を染め

一四三　朝日浴び生を確かむ翁かな　岩田繁　94歳

一四四　朝焼や大気を染めて美の極致

五九三　空高く微かな風に紅葉散る　可英　92歳

五九四　落ち葉踏む音賑やかに暮れ間近か

六二五　一病を抱える齢冬至風呂　中林徹　91歳

六二六　雀の子遥かに一茶の声のして

〈女性〉

一四七　敬老日まづは挨拶喜べり　笠原照代　98歳

一四八　新米や家族揃ってなお美味し

四三　納屋涼し亡夫手書きの農日記　城田鶴代　97歳

四四　穭田に杭打つ音のして淋し

一〇一　九十路歯応確と梨を食ぶ　久岡千代子　97歳

一〇二　爽やかや百歩足踏日課とす

一八七　釈迦像のお顔散策蟻孤独　黒田清子　97歳

一八八　遠花火音遅れくる終の宿

六八三　孫娘暮のボーナス声弾む　足立静枝　97歳

六八四　流れゆく紺碧の空雲なびく

群馬県長寿社会づくり財団の各種ＳＮＳをご活用ください。

LINE公式アカウントはじめました。 当財団の最新情報をお届けします。ぜひ「お友達登録」お願いします。

ホームページ
講座、講習会、イベント等ご覧になれます

LINE 公式アカウント
情報をラインで直接お届けします

X（旧ツイッター）配信中
講習の様子や情報を配信していきます

You Tube
講習の様子を動画でご覧いただけます

群馬県長寿社会づくり財団は、高齢者の健康づくり及び生きがいづくり、高齢者の能力活用及び雇用・就業を促進するための諸事業を行っています。ぜひご参加ください。

高齢者の生きがい健康づくり事業

生きがい健康づくりに関する情報発信、社会参加活動に役立つ講座、ボランティア養成講座、文化・スポーツイベント、仲間づくりのための情報提供等を行っています。

▶財団ホームページ

シルバー人材センター

元気ではたらくことにより、地域社会に貢献し、地域とのつながりを深め、いきいきとした生活を楽しむための組織です。

高齢者活躍人材確保育成事業

就業体験(現場見学)や必要な技能講習を行い、シニアと企業の双方にシルバー人材センターへの理解を深めていただきます。

入賞作品は、ぐんまときめきフェスティバル「ときめき美術展」会場で次のとおり展示いたしますのでご覧ください。

期間：３月２２日（金）～ ２４日（日）

時間：１０：００～１６：００（２４日（日）は１０：００～１２：００）

場所：昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館） 大展示ホール（〒371-0805 群馬県前橋市南町３丁目６２－１）